

# 科学研究・発明くふうにチャレンジ

令和5年7月

備前市立日生東小学校

## かがくはっぴょうむ 科学発表に向けて

毎年、岡山県では小中学生を対象とした科学研究発表会を行っています。この長い休みを利用して、日頃なかなかできない観察や実験にじっくり時間をかけて取り組んでみましょう。

### 1. 研究発表の内容について

① 本や図鑑で調べて終わってしまう研究ではなくて、「不思議に思っていること」「自分が調べたいこと」「やりたいこと」を見つけてみましょう。

② 一日で終わる研究よりも、何日かかけてじっくり研究するテーマを選びましょう。

③ 見通し（だいたいこうなるだろうと予想のつくこと）が全くたたないものは研究がしにくいですが、研究をする前から結果がだいたい分かるものは、おもしろくないですね。次に、こうやってみようと思えるようなものを選びと発展していきますよ。

### 2. 研究の進め方

① 研究の目的（調べようと思ったわけ・調べたいこと）

まず、自分が何を研究したいのかを決めましょう。そのときどうしてこの研究をしようと思ったのかというわけを決めましょう。調べたいことが決まれば、それに合う題（テーマ）を決めましょう。

② 研究の方法（やり方）

自分が研究したいこと（目的）を決めた後、その目的に向かって、どのようなやり方で研究をするのか決めましょう。

③ 研究の結果

研究したことの結果をまとめましょう。写真やデジカメ、ビデオにとったり、絵に描いたりして記録に残すと分かりやすいですね。言葉や表・図などを使ったいろいろなまとめ方があります。

④ 考察（分かったこと）

研究したことの結果から、どんなことが分かったのか、自分の考えをまとめてみましょう。

④ 反省と今後の課題（次に調べたいこと）

今回の研究で、「できたこと」「できなかったこと」などをまとめてみましょう。次の研究では、「こんなことを調べたい!」ということが書けたら、次回の研究につながりますね。

日にちをかけて、じっくりと〇〇のことを研究し、  
〇〇のことなら、何でも知っている「〇〇博士」になろう!!

はつめい む  
発明くふうに向けて

不用品を生かして（リサイクル）生活を楽しくするもの（こんなものがあったらおもしろい!!）や生活を便利にするもの（こんなものがあったら便利!!）を作ってみましょう。作った物の名前、作ろうと思ったきっかけや使い方、工夫したところなどをメモし、作品といっしょに出しましょう。

① 一人、または、共同（3人以内）で作った作品1点に限ります。

たんなる工作品や模型、あるいはこわれやすいもの、図面だけのもの、ほかの人の作品をまねた作品は対象外です。

② 著作権の存続している著作物（音楽、イラスト、キャラクターなど）を使用する場合は、事前に著作者の許諾を得ているものにかぎります。

③ 作品の大きさは、たて・横・高さとも1m以内、重さは20kg以内とします。

さあ、楽しいものづくりにチャレンジ!!

【しめ切り】 8月25日（金）